

防災まちづくりの疑問？はてな？

◆人とのふれあい大切に◆



8年前の阪神・淡路大震災では、人々の助け合いによって地震から約9時間で約11,000人の住民全員の安否を確認できた町があるそうです。

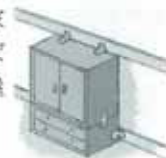
私たちの家族をはじめとして、近隣、さらに町会の方々との日頃のふれあいが、いざというときに地域住民の尊い命を救うことへとつながっていきます。災害時に地元企業の方々との協力体制ができ、

重機や備蓄食料が提供されることになっている地域もあります。いざという時にみんなで助け合えるように、日々人とのふれあいを大切にしていけることが必要です。家族との災害時の連絡方法や、集合場所などを、夕飯の団らんを利用しながら話し合っていますか？

我が家でできる防災対策 (その⑤)

◆あなたの部屋は大丈夫？「生きる準備」していますか？◆

大きな災害が起こると避難することになっていますが、その前に家の中で家具が倒れてけがをしたりしては話になりません。家の構造が安全でも、例えば食器棚が倒れると、破片が散乱して歩けなくなります。みなさんも自宅の部屋や廊下を確認してください。



- 寝室に大きな家具はありませんか？（→倒れると寝ている体を圧迫します。背の低い家具にするか、倒れても安全な場所をつくってください。）
- 重いものを部屋の高いところに置いていませんか？（→テレビでも飛んで来ます。）
- 家具は天井や壁に固定していますか？（→柱など構造部材に固定しないと揺れて器具が外れます。固定器具はホームセンターなどで入手できます。）
- ドアの近くに重い家具を置いていませんか？（→冷蔵庫など重くて背の低いものはズルズルと移動してドアをふさぎます。）
- 非常持ち出し品は安全な場所に置いていますか？（→備えていても使えないと無意味です。）

編集後記

会員の皆さんから色々な提案や意見が多く出るようになりました。これからこの会を続けるために、地区の多くの方々に、安心なまちづくりを学んで、伝えることをめざしています。

このまちづくりニュースの発行は、地域の皆さんに、会で行っている内容をお知らせするものですが、その他のイベント（防災まちづくりフェア）などにも是非来て下さい。（め）



大森中・蒲田・糀谷地区

防災まちづくりの会 構成団体

左記の団体からの代表と公募住民の55名の会員で活動しています。

川畑自治会	東蒲田二丁目南町会
大森山谷自治会	南蒲田一丁目自治会
大森町自治会	南蒲田二丁目自治会
本宿町会	南蒲田三丁目自治会
大森中八幡自治会	新宿東町会
大森堀之内自治会	大森第一小学校PTA
北糀谷一丁目町会	北糀谷小学校PTA
西糀谷一丁目町会	糀谷小学校PTA
西糀谷二丁目町会	東糀谷小学校PTA
西糀谷三丁目町会	南糀谷小学校PTA
西糀谷四丁目町会	大森東中学校PTA
大島居中央町会	糀谷中学校PTA
東蒲田一丁目自治会	東蒲田中学校PTA
東蒲田二丁目自治会	公募住民

大森中・蒲田・糀谷地区 防災まちづくりニュース NO 11

平成 15年 11月

大森中地区 防災生活圏促進事業
編集：大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりの会
発行：大田区 まちづくり推進部 まちづくり課 TEL.5744-1338

「都市を襲う巨大地震」

前回、私たちを襲った関東大震災から今年でちょうど80年です。しかし、今年も東北地方での一連の地震をはじめ、9月の十勝沖地震など、各地で地震が続いています。

今回は、7月26日に震度6強の地震に襲われた宮城県北部の被災地の8日後の様子を紹介します。

民家の被害は応急処置をしたままで、倒れたブロック塀は処理され、瓦が落ちた屋根にビニールシートをかぶせている程度でした。

倒壊したブロック塀や、散乱した窓ガラス、倒壊寸前の建物や、ほぼすべての住宅にできた壁の亀裂を見て、身の回りに起こる災害時の恐ろしさを改めて知りました。また、余震も続く中、ようやく始まった民家の片づけの状態を見て、災害後の生活再建の難しさも実感しました。

家具の転倒防止や家の耐震補強、生け垣の整備など、住民一人一人の事前の取り組みで、大地震時の最悪の事態を回避できることを忘れてはいけません。



基礎が崩れて使用不能になった町工場



倒壊したブロック塀。25年前の宮城県沖地震ではこれで多くの子どもが犠牲になりました

ごあいさつ

大森中・蒲田・糀谷地区 防災まちづくりの会 副会長 平林 勲

当会の活動も4年目を迎え、様々な活動の中で新たな発見や意見が交わされてまいりました。いままでの活動を、皆さんとともに、さらに目にうつる形に、残るものへつなげていきたいと思っています。

会のマークができました！

ついに当会のマークができました。「三角」形をなしている私たちの3地区で防災まちづくりに「参画」する思いを込めて「さんかく隊」としました。今後、ポスターやニュースの他、防災まちづくりフェア（詳細次頁）ではのぼりも登場します。お楽しみに！

